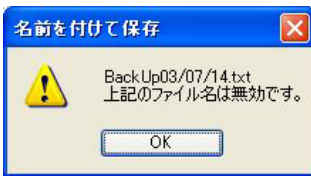


6月30日、マイクロソフトはついにWindows98のサポートを終了しました。これからはますますWindowsXPが主流になって行きます。今回はWindowsの“おさらい”の意味も含め、知っているとか何とかと便利な“基本”と“小技”をご紹介します。

基本1 フォルダ、ファイル名に使えない文字

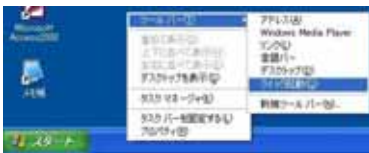
フォルダやファイルに名前を付けて保存する時、半角「¥」「/」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「|」の9種類の文字は使用できない。全角ならOK、Windows共通の仕様。



98 Me XP

基本2 クイック起動を表示する

Windows98からの機能である「クイック起動」。便利な機能なのにXPではなぜかデフォルトではない。「クイック起動」を表示させる時は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」「クイック起動」にチェックを付ける。



98 Me XP

基本3 ファイルの拡張子を表示する

任意のフォルダを開き、「ツール」「フォルダオプション」「表示」タブの「詳細設定」の「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外す。開いたフォルダ以外のファイルにも拡張子が表示される。(上記の操作方法はXPの場合)

98 Me XP

基本4 特定の拡張子だけを表示する

基本3で「登録されている拡張子は表示しない」のチェックが付いていても、「EXE」などの特定の拡張子だけを常に表示する事ができる。「フォルダオプション」「ファイルの種類」タブの「登録されているファイルの種類」から拡張子を表示したいファイルを選択して、「詳細設定」ボタンをクリック。「常に拡張子を表示する」にチェックを付ける。(上記の操作方法はXPの場合)

98 Me XP

基本5 キーボードでファイルを選択する

ファイルの選択はマウスだけでなくキーボードでもできる。フォルダが開いているとき、キーボードから1文字を入力すると、その文字を先頭に持つファイルが選択される。同じ文字をもう一度入力すると、次のファイルが選択される。

98 Me XP

基本6 スタートメニューに“よく使うプログラム”を登録する

よく使うプログラムやファイルはショートカットをデスクトップに置くが、デスクトップ以外に、スタートメニューにも登録できる。登録したいプログラムやフォルダを、スタートメニューの左上の“よく使うプログラム”領域にドラッグ・アンド・ドロップすればOK! デスクトップなどから登録するときはドラッグ・アンド・ドロップ中に“ウインドウスキー”を押してスタートメニューを開こう!



98 Me XP

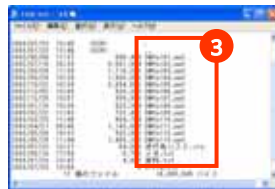
技1 フォルダ内のファイル名の一覧を作成

できそうでできないのがフォルダ内のファイル名一覧の作成・印刷。実は、DOSプロンプト(コマンドプロンプト)を使用すると簡単にできる。

```
C:¥WINDOWS>cd デスクトップ¥DAIDO INFO 1
C:¥WINDOWS¥デスクトップ¥DAIDO INFO>dir >title.txt 2
C:¥WINDOWS¥デスクトップ¥DAIDO INFO
```

- 1 DOSプロンプト(コマンドプロンプト)を起動したら、cdコマンドで一覧にしたいフォルダに移動する。(上の例は、デスクトップにある“DAIDO INFO”フォルダに移動)
- 2 次に、dir >title.txtと入力して「Enter」。(上の例は、title.txtと言う名前のファイル名一覧ファイルを作成)

- 3 上の例の場合では、デスクトップの“DAIDO INFO”フォルダ内に“title.txt”が作成される。ファイルを開くと、作成日時やファイルの容量とファイル名の一覧が表示される。



作成されたファイルはテキストファイルなので、エクセルなどで整形をすればフォルダ内のファイル名一覧表が出来上がる。

98 Me XP

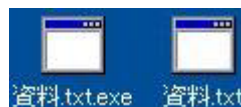
技? IMEのナゾ

最後にチョット変な技を紹介。IME言語バーの変換モードを「話し言葉」にして「ぎれ」と入力するとなぜか“ピカチュウ”が変換候補に出てくる! 何の役にも立たない技だけど暇な時に試してみては? **IME2002**

ワンポイントアドバイス

拡張子を表示してウイルスからマシンを守ろう!

二重拡張子というのを御存知ですか? 読んで字の如く、拡張子を2つ付けることです。ファイル名にはピリオドが使えるので、こんな変なファイル名を付ける事が可能なのです。この二重拡張子、使い方によって便利な事もあるのですが、危険な面も持ち合わせています。例えば「資料.txt.exe」という名前のウイルスがメールに添付されて来たとき、拡張子を表示していない場合は「資料.txt」と表示されます。ファイルのアイコンがテキストのアイコンではないかも知れませんが、多くの方は単なるテキストファイルだと思い、開いてしまうでしょう。開いた途端にウイルスプログラムが活動!と言う事があるのです。拡張子を表示していれば、上記のウイルスファイルも「.exe」と言う拡張子を見て、怪しいファイルと判断出来るのです。拡張子を表示する事はウイルスからマシンを守る事にもなるのです。



左の2つのファイルは同じファイルです。右は拡張子を表示せず、左は拡張子を表示する設定で表示したものです。パソコン初心者の方は開いてしまうのではないのでしょうか?

トラブル解決 Q & A

Q メール添付ファイルが開きません。
届いたメールを開いたら「次の添付ファイルは安全でないため、メールからのアクセスが削除されました: xxx.xxx」と書かれていました。メール本文を読むとどうやら添付ファイルがあったらしいのですが、どうしたら添付ファイルが開くのですか?

A Outlook Express 6のセキュリティ機能が原因です。添付ファイルを受け取るには、Outlook Expressの「ツール」「オプション」「セキュリティ」タブの中にある“ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない”のチェックを外します。これで、添付ファイルを受け取る事ができますが、ウイルス付きの添付ファイルを開く可能性も高くなります。チェックを外す前にウイルス対策ソフトの導入をお奨めします。

開発室から

麒麟ビール北陸工場に行ってきました。もちろん目的は“出来立てのビール”の試飲です。駐車場に車を止めて、見学コースの受付にいくと、「お車でお越しですか? 運転手さんは?」と聞かれ、「はい。」と答えると、受付のお姉さんにはこやかに“ジュース券”をくれました。「しまったー!」と思ったのですが後の祭りです。試飲コーナーではビールを飲む友人の横で、私はオレンジジュースを飲んでいました。友人は「お前は運転手!」と一口も分けてくれませんでした。